

日刊 動労千葉

1988.3.9
No2773

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二二（七）二〇七

二月二三日、サークル協第十回総会が開かれ、当局・鉄道労連一体となった組織破壊攻撃と対決し、これをね返す闘いの一環としてのサークル活動の重要性を再確認し、より一層の強化発展をかけることを確認した。

昨年一年間の経過報告では、①半休・年休がとれない。②明けが遅い。③仕事がついに等々、サークル活動の基盤が奪われ、なによりも、当局の強権的労務支配の攻撃が、サークル活動を行う心のゆとりさえ失わせている実態が報告された。

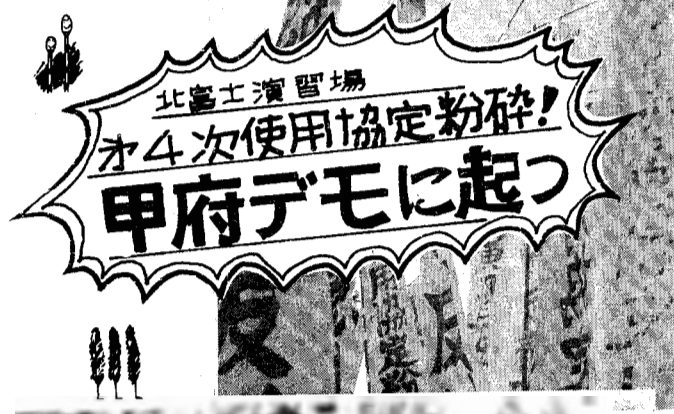
こうした状況にもかかわらず、動労千葉は、七・五地引綱大会、十一・三団結運動会の大成功をかちとっており、この実績にふまえて自信をもって活動することを確認した。

活動方針は、①全組合員が参加するサークル活動をめざし、②家族ぐるみの団結祭典と、年一回のレクリエーションの実施、③各連盟、部会の強化・充実を確認し、具体的行動計画は第一回運営委員会で決定することとした。

《サークル協新役員》

- | | |
|-------|------------|
| 議長 | 長 中野 洋 |
| 事務局次長 | 林 熊吉 |
| 事務局長 | 関 豊（新小岩） |
| 運営委員 | 大岩 定雄（"） |
| | 内藤 潔（"） |
| | 田中 広胖（勝浦） |
| | 戸田 隆雄（千葉転） |
| | 深見 四郎（津田沼） |
| | 木村 勇（幕張） |
| | 加藤岡英夫（"） |
| | 磯辺 哲夫（新小岩） |

強権的労務支配をサークル活動の強化を うちやぶり、 2/23 サークル協カ11回総会開く!



一九八七年度
第三・四半期
会計監査実施される
2/27

1988年2月27日

国鉄千葉動力車労働組合
執行委員長 中野 洋 殿

国鉄千葉動力車労働組合
会計監査員 村田 茂
会計監査員 関 弘 明
会計監査員 石 幡 佳 和

会計監査報告書

1987年度第3-四半期会計監査は、規約第47条の定めるところにより、会計監査を実施した結果、金銭、帳簿に不正にもとづく事実のないことを確認し、下記のとおり報告します。

記

1. 監査期日 1988年2月27日
2. 監査場所 国鉄千葉動力車労働組合本部事務所
3. 監査項目
 - (1) 予算執行の適否
 - (2) 経費支出内容の適否
 - (3) 物品購入価格および方法の適否
 - (4) 消耗品使用の適否
 - (5) 財産および備品管理の適否
 - (6) 現金および預金の確認
 - (7) その他必要と認める事項
4. 確認事項 1988年2月27日現在の預金、現金証券類の確認
5. 意見

1988年度第3-四半期会計監査については、会計規則第53条の定めに従い監査を行った結果、不正にもとづく事実のなかったことを証明します。組合費の納入状況、有価証券等の管理、帳簿類の整理は概ね良好でした。「4・1体制」後はいじめのダイヤ改正を控え、厳しい情勢下で労働運動の原則を守って闘い抜くための健全な財政基盤の確立のために、関係役員の方々のさらなる努力を期待します。